

# 国語科学習指導案

富田林市立小金台小学校

指導者 弓場 恵子

## 1. 日時

令和4年 12月1日(木) 第5校時(13:25~14:10)

## 2. 学年・組

第3学年1組(36名)

## 3. 単元名・教材名

場面をくらべながら読み, 感じたことをまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書・3年)

## 4. 単元目標

- ・文章を読んで理解したことに基づいて, 感想や考えをもつことができる。(思 C(1)オ)
- ・様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語彙を豊かにすることができる。(知(1)オ)
- ・登場人物の気持ちの変化や性格, 情景について, 場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。(思 C(1)エ)
- ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思 C(1)カ)

## 5. 指導にあたって

### (1) 教材観

本教材は児童が初めて出会う戦争文学である。児童は自分たちの生活とは遠くかけ離れた過去の出来事である「戦争」と当たり前と思っている家族との生活, 命, 未来などの「平和」を主人公「ちいちゃん」の目を通して見つめることになる。また, 学習の中では自分自身の目でより客観的に捉えられるようになることを目指す。そこで, 一つ一つの細やかな言葉の表現, 状況の描写を大切に, 児童の五感に訴えながら読んでいくことで, 自分と地続きにあるものとして内容を捉え, 考えをもつことができるように指導したい。児童にとっては比較的遠い題材であるがゆえに, 授業においては必然的に, 友達の考えを聞いてみたいと感じる場面が生じると考える。児童の気持ちが高まったタイミングで, 適宜, 交流の場を設定していきたい。この交流は, 児童それぞれが自分の考えを深めてから行いたい。そこで, 単によいところを認め合うだけでなく, どうして同じ考えに至ったのか, なぜ違うことを考えたのかを, じっくり語り合えるようにしたい。また, 考えをさらに広げたり深めたりするという経験をさせる場にしたい。

## (2) 児童観

本学級では、自分の考えや気持ちにあった言葉で、書いたり話したりすることが苦手な児童が多くいる。そこで、自分の意見をノートに書き、ペアやグループで伝え合うことを大切に、授業を展開してきた。伝え合う中で、少しずつではあるが、自分の考えや気持ちにあった言葉を見つけることができ、自分の意見に自信をもつことができつつある。しかし、全体の場になると、自分の意見が出しにくい児童が少なからずいる。また、他者の意見や考えに納得・共感はあるが、疑問をもって質問をすることがなかなかできない。質問をすることが、相手の意見を否定することになるのではないかと心配している児童も多い。そこで、現段階では教師が全体の場で、児童に質問をし、その内容をまた全体にかえして深めているところである。そして、少しずつグループでの話し合いで、お互いに質問ができるようになることをめざす。

## (3) 指導観

### ① 話し合い活動

本学級では、ペアで意見を交流してから、グループ、学級全体での話し合いに広げる形で取り組んできている。ただ、話し合いというよりは、自分の意見をお互いに伝え合っているだけになってしまっているのが課題である。そこで、グループでの話し合いでは、司会者をたて、お互いの意見を出し合ったあとに、質問をしあって深められるような話し合いになるように取り組んでいく。

学級全体の話し合いの課題としては、発言する児童が偏ってしまうことである。そこで、グループでの話し合い活動を積み重ねることで、学級全体の話し合いでも、自分の意見をのびのびと話せる児童が増えることをめざしている。そして、全体の場でも、お互いの意見を出し合ったあとに、質問をしあって深められるような話し合いになるように取り組んでいく。

### ② めあてと振り返り

本単元では、めあてに対する振り返りが書けることを目標にする。本学級の児童は、他者の意見について、共感し納得したことは書くことができる。また、自分の意見と比較して、考えを深めることができる児童も少しずつ増えてきている。一方で、「〇〇さんの意見がすごいと思った。」「△△さんの意見と同じだった。」のように、他者の意見を聞いてはいるが、そこから広げたり深めたりすることができない児童がいる。また、めあてとずれてしまった振り返りをしてしまう児童がいるのも課題である。そこで、「振り返りの型」などを提示し、話し合い活動を通して、学んだことや他者の意見と比較して考えを深めたことを振り返りに書けるように、本単元でも指導していきたい。

振り返りを通して児童一人ひとりの学びを見取ることも大事にする。学び合い活動を通して、自分の考えの変容や新たな気づきを表現する力を伸ばしていく。この単元でも、他者の考えから、自分の考えを更新したり、新たな気づきや疑問をもったりできる、学びの実感につなげられるようにしたい。

## 6. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(知(1)オ)	「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることができる。(思(1)オ)	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づこうとしている。

## 7. 単元計画(本時7/9)

時	○学習活動	◇指導上の留意点	・評価規準
1	○学習課題の設定や学習計画の確認し、『ちいちゃんのかげおくり』を通して考えていくことの見通しをもつ。  ○『ちいちゃんのかげおくり』を読み、感想をノートにまとめる。	◇これまでの学習「まいごのかぎ」「三年とうげ」で登場人物の心情の変化に着目してきたことなどをふり返らせる。  ◇登場人物の会話文や情景をあらわす文章に注目させる。	・過去の学習を振り返り、これからの学習に対する見通しをもっている。  【主】 ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。  【思・判・表】
2	○第1場面について、環境の変化やちいちゃんの気持ちについて考えを書き、話し合う。	◇叙述をもとに登場人物の心情について考えさせる。 ◇話し合いを通して、自分の考えをもたせる。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。  【思・判・表】
3	○第2場面について、環境の変化やちいちゃんの気持ちについて考えを書き、話し合う。	◇叙述をもとに登場人物の心情について考えさせる。 ◇話し合いを通して、自分の考えをもたせる。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。  【思・判・表】
4	○第3場面について、環境の変化やちいちゃんの気持ちについて考えを書き、話し合う。	◇叙述をもとに登場人物の心情について考えさせる。 ◇話し合いを通して、自分の考えをもたせる。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。  【思・判・表】
5	○第4場面の「かげおくり」について考えを書き、話し合う。	◇叙述をもとに、一人でかげおくりをするちいちゃんの心情について考えさせる。 ◇話し合いを通して、自分の考えをもたせる。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。  【思・判・表】

6	○第1場面と第4場面の「かげおくり」について考えを書き、話し合う。	◇2つのかげおくりを比較しながら、考えさせる。  ◇話し合いを通して、自分の考えをもたせる。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 【思・判・表】
7 本 時	○第4場面のちいちゃんは、幸せであったかについて考えを書き、話し合う。	◇前時までの学習をふりかえり、叙述をもとに考えさせる。  ◇話し合いを通して、自分の考えをもたせる。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 【思・判・表】
8	○第5場面を読み、物語全体を通して、作者が伝えたかったことについて考えを書き、話し合う。	◇叙述をもとに、作者の気もちについて考えさせる。 ◇第4場面と比較しながら、物語全体から考えさせる。 ◇話し合いを通して、自分の考えをもたせる。	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 【思・判・表】
9	○物語全体についての感想文をまとめ、交流する。	◇表現のしかたやその良さに着目させ、交流させる。	・「ちいちゃんのかげおくり」を読んだ感想をまとめ、友達と共有して、考えを広げている。 【主】

## 8. 本時の目標

話し合いを通して、ちいちゃんは幸せだったかについて、自分の考えをまとめることができる。

## 9. 本時の判断基準

十分満足できる状況	概ね満足できる状況	努力を要する子どもへの支援
ちいちゃんの気持ちだけでなく、戦争という背景をふまえ、話し合いを通して、自分の思いを考え、表現できている。	他者の意見を聞いて、自分の考えとの違いに気づき、自分の考えを表現できている。	・ちいちゃんのがんこちがわかる文章や言葉に着目させる。 ・グループでの話し合いを通して、自分の考えをもてるようにする。